

## 第11回大月市教育委員会定例会 会議録

- ・ 開催日時 平成29年2月24日(金曜日)  
午前9時30分から午前11時00分
- ・ 開催場所 市役所第2庁舎4階会議室
- ・ 出席委員 小泉克行教育長、中村順一郎教育長職務代理者、  
飯高秀治委員、藤本政一委員、藤本美也委員、  
天野ますか委員
- ・ 出席職員 井上教育次長、天野社会教育課長
- ・ 傍聴人 な し

### 〔会 議〕

#### 1 開会

##### 【教育長開会宣言】

#### 2 会議録の承認

職員が、平成28年度第10回定例会会議録を朗読し承認される。

#### 3 教育委員会報告

教育長から、平成29年1月25日から平成29年2月24日までの教育委員会活動が報告された。

#### 4 議 事

議案第30号 代替教員内申について

( 非公開 )

〔説明〕 蔦木学校教育担当リーダー

##### 【原案どおり決定】

議案第31号 大月市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について

〔説明〕 小林教育総務担当リーダー

昨年3月に適正配置実施計画と学校施設の耐震化が完了し、昨年4月から小中学

校7校で新しい学校運営、学校教育が始まりました。数年前から、適正配置の完了にあわせて学校教育課の担当名を、児童生徒や教員に直接かかるソフト面である学校教育振興部門と、学校施設や設備などのハード面をはじめ、閉校学校跡地等全体的な教育環境を整える部門に業務を改変し、担当名も改めることを要望してきましたが、今年度の庁内の会議において承認されましたので、来年度から担当名を「こどもの学び支援担当」、「学校づくり担当」に変更するものです。

また、分掌事務の項目として、適正配置実施計画が昨年4月1日をもって完了しましたので、その関係の事務分掌を2つ削ったり、他の項目での組み合わせを行ったりしました。また、学校跡地の調整に関する事、通学の安全に関する事、学校防災に関する事は、これまでも行っていたのですが、分掌事務に明記されていなかったため、今回、明記しました。

### 【原案どおり決定】

議案第32号 大月市立学校職員の人事評価結果に対する苦情処理実施要綱について

〔説明〕小林教育総務担当リーダー

県費教職員の人事評価が今年度から本格実施となり、県の人事評価に関する規則及び県人事評価実施要綱において、評価結果に対する苦情の申出は所属する学校を所管する教育委員会へ申し出ることが出来るとされていますので、その苦情処理に対応するための要綱を制定するものです。

内容としては、資料のとおり、第1条の目的から第13条のその他で構成していて、平成29年4月1日施行となります。なお、この要綱については、大月市法令審査委員会において内容を審査しているところですので、審議の結果により修正となる箇所が出てくる可能性があります。それらを踏まえたくらうえでご理解をいただき、ご承認をお願いします。

中村職務代理者

法令審査会とは何ですか。

井上教育次長

法令審査会とは、条例・規則等を審査する庁内の審査会で、審査会の委員は市の職員で構成されています。今回の要綱は、概ねこの内容で良いということですが、細かいところのチェックを現在行っています。

飯高委員

苦情の対象に、評価項目別評価、職務別評価とありますが、評価結果は本人に開示されますか。

小泉教育長

開示されます。この人事評価を簡単に説明しますと、先生方が自己観察書に今年の目標を記入し、それに対して校長先生や教頭先生が面談をして、助言をします。その後、目標の修正をして、授業や実践等を通して、2学期にもう一度面談を行います。そして、今頃の時期に最後の面談をしています。何度も面談を行い、校長先生や教頭先生がどのようなことを書いたのかも、原則開示されます。それに対して苦情がある先生は、申出をして、それを受けるのが審査会となっています。今年から給料に反映されましたので、苦情があった場合には、それを審査するところが必要となるため、今回、要綱を新規制定します。

**【原案どおり決定】**

議案第33号 大月市私立幼稚園就園奨励費補助金交付に関する規則の一部を改正する規則について

〔説明〕小林教育総務担当リーダー

この規則は、大月市に居住し、私立幼稚園に就園している園児の保護者の負担を軽減するため、世帯の所得の階層に応じて補助を行うための規則です。この補助制度について、平成28年4月24日付けで文科省から改正の通知がありましたので、その通知内容に基づいて改正を行います。

改正の内容は、ひとり親世帯等の保護者の軽減を行うために、第Ⅱ階層と第Ⅲ階層にひとり親世帯の特例措置が設けられたこと、多子世帯の保護者の軽減を図るために、第3階層以下の世帯では、兄弟の年齢制限が撤廃されたこと、また、これまで階層区分の判定方法が第2方式と言う、16歳未満、又は16歳以上19歳未満までの親族の数にそれぞれの調整額を乗じて算出した額に基づき階層区分を判定する方法でしたが、今後は第3方式と言う、市町村民税課税額に基づき階層区分を判定する方式となりましたので、大月市の規則も同様の改正を行うものです。

**【原案どおり決定】**

議案第34号 大月市立図書館条例施行規則の一部を改正する規則について

〔説明〕天野社会教育課長

現在、図書館で使用している図書カードの有効期限は、最終貸出日から3年となっているため、定期的に貸し出しをしている方については、住所等の確認が出来ていない状況です。従いまして、今回、利用カードの有効期限は登録した日から3年とすることに改正し、有効期限を過ぎた利用カードは本人確認を行うことにより、更新することが出来るという内容に改めます。

**【原案どおり決定】**

## 議案第35号 平成29年度教育委員会予算について

〔説明〕小林教育総務担当リーダー 天野社会教育課長

小林教育総務担当リーダー

学校教育課の平成29年度の主な予算について説明します。コミュニティスクール導入等促進事業は、平成28年度、平成29年度の2年間に亘り、初狩小学校をモデル校として取り組んでいる事業です。事業費の3分の1が国庫補助、3分の2が大月市で、県の補助はありません。

小学校一般管理事業の主なものは、特別支援学級で対応する子ども達が増えていて、県の教員だけでは対応しきれないという状況がありますので、市担講師等を配置するための臨時職員賃金が、本年度より小学校で約660万円の増額となっています。

また、保護者から要望がありました防犯カメラの設置について、新規事業として予算化しました。記録装置付きのカメラを1校あたり2台ずつ、全校に設置します。

中学校一般管理事業については、小学校同様の理由で、市担講師を配置するための賃金が、今年度より約340万円の増額となっています。

防犯カメラについては、小学校同様に大月東中学校、猿橋中学校に設置を予定しています。

ふるさと教育推進事業については、教育支援室が主体となり、今年度以上にふるさと教育につながるような事業を進めていきます。

また、中学生のキャリア教育である職場体験大月仕事塾の事業の継続、新たに子どもの学びを支援する大月楽習塾事業を大月っ子楽習サロン、大月家庭塾事業をチャレンジ大月っ子という親しみやすく取り組みに入りやすい名称として進めていきたいと考えています。

国際理解を深める外国語推進事業については、今年度同様に取り組んでいきます。

特別支援教育関係は、各学校の実情に合わせて、校長とのヒアリングにより、必要な事業を予算計上し、負担講師の増員を予定しています。

学力向上対策事業は、テキストやワーク等の資料購入費用の一部を負担する事業です。

学力向上フォローアップ事業は、昨年度・今年度に引き続き、夏休みを利用して学習支援を行います。

学校給食センター運営事業では、小中学校の児童生徒数は減少していますが、職員、調理員等は本年度と同様に人員を確保し、運営にあたりたいと考えています。

食材費のみ、児童生徒から徴収し、その他、賃金をはじめ、運営に係る事業は全て公費で賄います。以上が学校教育課の主な事業概要です。

学校教育課の歳入については、歳入合計は1億154万9,000円を見込んでいます。歳出については、7億4,557万4,000円となっています。

天野社会教育課長

社会教育課では、全体の状況として、前年度を踏襲する予算編成を行っていま

す。その中の変更項目について、説明します。

郷土資料館については、消防署より、不燃材を利用していない部分があると指摘を受けましたので、事務室等の改修工事を行います。そちらの予算が86万円になります。

図書館については、館長による図書館機能の充実事業を進める形になります。平成29年度には、新たに写真展の開催、またCATVを活用した計画を現在計画中です。

文化施設の施設充実の今年度との変更部分については、市民会館において、屋根の防水工事を行います。こちらが最終の防水工事になります。そのほかに大ホールの吊物設備更新工事を予定しています。また、文化芸術活動の推進として、5月27日に三井住友海上文化財団による「なぎさブラズリステン」という音楽の鑑賞会を計画しています。また、5月13日にはNHK「ハートネットテレビ」公開放送という形で、山田邦子さんが出演予定で、こちらについては、3月号の広報で往復はがきによる入場無料での申込みという形で、独自事業を実施しようと考えています。

総合体育館については、現在メインアリーナの東側部分の暗幕の取り換えを予定しています。3年で全ての暗幕を替える計画にしていますので、東、西、南の順番で進めていきたいと思えます。また、体育協会から要望がありましたバレーボール支柱の購入を予定しています。こちらが、平成29年度の予算と今年度の予算の異なる部分となります。

社会教育課の歳入については1,894万1,000円の減額となりますが、この減額は、下瀬戸分館の建設を現在28年度に行っていて、その分の減額となります。また、歳出が2億1,591万5,000円となり、2,001万3,000円の減額となりますが、こちらも、下瀬戸公民館建設に伴う建設費が無くなったことに起因します。

#### 【原案どおり決定】

## 5 その他

### (1) 諸教育課題について

〔説明〕 小泉教育長

大月の教育課題等について、教育委員さんと情報を共有できる場があればいいと思ひ、準備をさせていただきました。

まず、生涯学習の充実は大事なことで、大人が学ぶ姿は子ども達への良い教育になりますので、ぜひ大人たちが一生懸命頑張っている姿を子ども達に見せるために、生涯学習に力を入れていきたいと思ひます。

地域社会の再生ということで、現在、初狩小学校でコミュニティスクールを行っています。地域が出来ることを考えて、積極的に学校に働きかけていくことが、地域の活性化につながるのではないかとと思ひます。

まち全体のコンセプトをどう考えるのかということについては、ユニバーサルデザインという言葉が使われていますが、ユニバーサルは誰にでもという意味で、高齢者や障害者の方にとって、居心地のいいまちは誰にとっても良いまちになります。やまびこ支援学校が桂台に移転しますが、日常的なふれあいを作り出していくことが出来れば、物はユニバーサルデザインに出来なくても、心はユニバーサルデザインにすることが出来るのではないかと思います。

また、子育てにやさしいまちになっていけばいいなと思います。小中学校はもちろんのこと、乳幼児期の教育を手厚くして、保護者の子育て相談機能を充実させて、子育てにやさしいまちにすることが出来れば、新しい人の新しい流れを作ることが出来るのではないかと思います。今後のまちづくりの中ではこんな仕組みをぜひ入れて、教育を大事にするまちになると良いと思います。

今後の教育施策の柱として、社会教育では生涯学習の充実が一番大事だと思っています。各地域にある公民館が社会教育や生涯教育の拠点となっていますので、そこでの活動の支援を行っていくことが大切だと思います。それから、社会教育施設の老朽化、耐震化の問題がありますが、本年度11月に作成された管理計画を基にしながら、老朽化対策と耐震化対策、施設規模・施設数の適正化や諸施設の集合化を計画的に考えていくことになると思います。

体育関係及び文化芸術関係の皆さんから、バトンタッチをする次の方たちがいないということをよく耳にします。今後は指導者、リーダーを含めて、それを広めていく取組みを市としても応援していかなければと思います。

次に学校教育です。大月楽習塾は、勉強に向き合えない子ども達のための塾として、教員OBの協力をいただき、各小中学校の放課後の時間を利用して、来年度実施していく予定です。大月楽習塾では固いので、大月っ子楽習サロンと名称を変える予定です。大月家庭塾もチャレンジ大月っ子と名称を変えて、家庭との連携をより強くする中で、子ども達に望ましい生活習慣を身に付けてもらおうと考えています。今、各学校で行っている生活記録ノートを小中学校の連携の中でさらに充実したものにしていけば、中学校に上がっても0スタートではなくて、作り上げることが出来るのではないかと思います。また、ネット社会に染まっていて、昼夜逆転の生活をしてしまっている小中学生が現在もいます。こういう取り組みの中で、ネット依存に陥らないような生活力を家庭の中に作れば良いと思います。

また、学校の宿題ではなくて、今日は家で仕事をしなさいという、家事労働の課題を出す日を大月市が一斉に用意して、その日は家族の一員として、家事労働に参加して、仕事を通して多くのことを学び、経験することが出来るようにしていきたいと考えています。そのようなことを全部含めてチャレンジ大月っ子ということで行いたいと考えています。

幼保、小・中・高の縦の接続として、小1ギャップ、中1ギャップ、高校の中途退学をなくすために、幼保・小・中・高が縦に接続して、子ども達の交流だけではなく、先生方の交流、情報の交換、保護者との信頼関係の構築を推進していきたいと思っています。

今後の課題ですが、平成32年度から小学校学習指導要領が大きく変わります。それに向けて、取り組んでいくなかで、一番大きいのが英語の教科化です。小学校5、6年生で週2時間入ってきますが、来年度1年間をかけて、どのようにしていくのかを考えていかななくてはなりません。

情報活用能力の育成ということで、情報中心技術、情報通信能力をいかに身に着けさせていくのか、環境を整えると共に、教員の指導力を向上させていかなければなりません。学力と生活力の向上については、大月家庭塾を中心に行っていく予定です。

いじめのない学校づくりは、いい学校、楽しい教室、楽しい授業を作ることが一番ですので、そのことに力を入れていきたいと思います。来年度、教員OBによるリレー講座を予定しています。若い先生方に、OBの先生の生徒指導、授業づくりなどの講義をしていただいて、居心地のいい授業、楽しい授業づくりのお手伝いが出来ればよいと思っています。

また、都留のこすもす教室が無くなります。大月市として、不登校の児童生徒の居場所をどのように整えていくのかを考えていかなければなりません。

経済的な事由ばかりではなくて、保護者の方の病気や情緒の不安定、家族間の諍いの中で、生活している子ども達があります。この子ども達だけへの指導支援では根本的な解決にはなりませんので、教育、福祉・医療等の関係機関がチームとして横に連携し、子ども達をよりよい環境に置くことが出来るようにしていくことが大事です。

また、学校跡地の利活用については、全庁的な視野の中で考えていかなければならないと思います。

#### 【了知】

#### (2) 国体記念小学生卓球大会結果について

〔説明〕 天野社会教育課長

卓球大会へのご協力ありがとうございました。結果は、大月東小学校Aが優勝しました。内容としては、準決勝に出場したチームが全て違う学校で、4校が準決勝に進出しました。

#### 【了知】

#### (3) 小林宏治育英奨学生選考委員会について

〔説明〕 小林教育総務担当リーダー

3月15日(水)午後3時より小林宏治育英奨学生選考委員会を予定しています。委員の皆様のご都合はいかがでしょうか。

中村職務代理者

あいにくその日は都合がつきません。

飯高委員

私もその日は都合が悪いです。

小泉教育長

申し訳ありませんが、選考会は委員の半数以上の出席で開催することが出来ますので、日程調整が難しいため、出席できる委員さん方で15日に開催してもよろしいでしょうか。

【了知】

(4) 平成29年3月23日(木)午前10時から第12回大月市教育委員会定例会を開催することを確認。

6 閉会

【教育長閉会宣言】